

令和3年度 高浜小学校の学校経営方針について

(1) 本校の教育目標

心身とも健やかで、たくましく生きる力をもつ子どもを育成する。

○思いやりの心をもつ子 ○健康なからだをもつ子 ○進んで学ぶ子

(2) 経営方針

【目指す子ども像】

「(人・もの・ことに)主体的にかかわり、仲間とともに伸びようとする子」

【目指す教師(組織)の姿】

- ・日頃から子どもの変容を見逃さず、よさを見出せる「教師のまなざし」を磨き続ける。
- ・子どもの「学びがつながる」ように、1年間の成長や6学年の発達段階を見通した取組を行う。
- ・教職員・保護者・地域の方とコミュニケーションを深めることで課題や目標を明らかにし、協働して、目指す子ども像の「日常化」を図る。

(3) 本年度の重点目標

1 子どもの主体性を育てる指導部の取組の充実

「挑戦課題としての学校行事」、「長幼の意識・行動力を高める異学年交流」、「自治活動としての児童会活動」、この三つは重なる部分があり、うまく関連させ、子どもの主体性を育てるよう、各指導部が提案していく。

しかし、行事の精選、活動時間の削減が進み、子どもが主体的に活動するのを待つ十分な時間はない。そこで、活動内容を絞ったうえで、重点的に取り組んでいく。また、1年間で期待される子どもの成長、学年ごとの目指す子ども像を掲げ、共通理解したうえで取り組んでいく。さらに、前年度の振り返りをもとに、問題を見つけ、子どもたち自身が学校生活をよりよくするための提案ができるよう、効率よく指導していく。

2 主題に迫る授業力・学級経営力の向上

(1) 主題研究は心を育てる道徳教育に取り組む

本校は、長年、「仲間とともに考えを深める」授業づくりを目指してきた。その土台となる学習規律の定着も図ってきた。昨年度はコロナ禍のためにあまり研究に取り組めなかったが、子どもたちや教師に根付いているものがある。これを生かすことができる。また、コロナ禍の今だからこそ、心を育てる道徳教育に取り組む意義があると考え。子どもたちの心を育てていきたい。

研究授業は、個々の教員の授業力向上に欠かせない。また、経験や専門の異なる教員同士が一つの目標に向けて話し合うことで互いにより影響を与え合うことができる。そこで、今年度は学年を低中高の3部会に分け、それぞれの部会で研究授業を行う。

(2) 5, 6年で教科担任制を進める

これまで、図工、音楽、外国語、書写等の授業を学年外の教科担任が担当してきた。今年度は、5・6図工、5・6音楽、5家庭、6外国語を学年外の教科担任で、そして、他の教科はできる範囲で社会、理科、家庭、外国語、書写などを学級担任3人で分担して学年3学級の授業を行うようにした。これにより、教材研究の負担を減らすとともに、授業の質を高めることができる。また、中学校の教科担任制と同じように進めることで中1ギャップの解消にもつながると考える。

(3) 高浜市『ギガスクール構想』でICT教育の充実を図る

昨年度、電子黒板とタブレットが導入されたので、本校は、子どもたちの学びを補償